

ボランティアに できる事を考える!



11月12日(土)

宍粟市ボランティア連絡会 しろう自立の家で理事研修

障がい者施設の事をもっと知ろうと、宍粟市ボランティア連絡会役員が、しろう自立の家(波賀町小野)を訪問した。

坂口施設長から障がい者施設の現状、また今回の研修のテーマである「地域やボランティアとの関わり」について説明を受け参加者から、「地域が受け皿になることが大切」という感想が出るなど、メモをとりながら熱心に話を聞いた。

今後、さらに市内の障がい者施設とボランティアの交流が深まればと思う。(波賀支部 草田希望)

「施設ではなく家に」自立の家には
様々な工夫がありました

広がれ!手話の輪



11月26日(土)

手話講座修了

11人中7名の方が
修了証を受取りました

7月9日から始まった全10回の講座の最終日。この日は、今までの復習をかね、自分の周りの出来ごとを一人ずつ手話で伝えた。時々、講師に教わりながらも全員、手話で表すことができた。

講座を振り返り参加者は「難しかったけど楽しかった。講座が終わるのがさみしい」「見て聞いたことを一人でも多くの人に手話で伝えるためにこれからも勉強したい」と感想が聞けた。

今後、この講座をきっかけに一人でもたくさんの人が手話の輪を広げてくれることを期待したい。

(山崎支部 横山洋子)



ボランティアセンター日誌

波賀で!一宮で!ボランティアが交流

心を一つに「今」に感謝!!



11月27日(日)

波賀ボランティアのつどい

メイプル福祉センターで「災害とボランティア」をテーマに勉強会を行った。

東日本大震災の被災地で支援活動を行った社協可藤和成次長から、宮城県南三陸町での災害時の様子や、その後の災害ボランティアセンターの活動等の話を聞いた。

参加者からは「心をひとつに活気のある町にしたい」「自分にできる、身近な活動や備えをしたい」など、様々な想いが聞かれた。

この日の参加者は46名。勉強会の後には健康体操も行い、活動ができる健康な体に感謝する機会にもなった。

(波賀支部 草田希望)

「知る」「感じとる」ことも支援のひとつ

リズムに合わせて笑顔で交流



11月28日(月)

一宮ボランティアのつどい

一宮保健福祉センターで、一宮ボランティアのつどいが開催され、56名が参加された。

笑顔で交流ができるように、講師の「田かちゃんず」のお二人が音楽を使ったレクリエーションで、終始笑顔で交流が進んだ。

参加者からは「初めての方とも楽しく話しをすることができて、とてもよかったです」「初めての参加ですが、いろいろなボランティアの方々が活動されていることに感心しました」という声も聞くことができ、有意義な交流となった。

(本部・一宮支部 田中祥仁)

このつどいのために秋田多佳子さん、
田中由香里さんのお二人が
「田かちゃんず」を結成

「声」は元気の源!
リズムに合わせてグー チョキ パー